令 和 2 年 度

決 算 報 告 書

（ 第 5 6 期　令 和 2 年 4 月 1 日
令 和 3 年 3 月 3 1 日 ）

貸 借 対 照 表

令和3年3月31日現在

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金預金	4,613,936,749	2,704,561,693	1,909,375,056
貸 付 金	11,624,289,000	13,964,279,500	△ 2,339,990,500
立 替 金	2,408,383	1,320,153	1,088,230
前払費用	415,310	415,310	0
未 収 金	142,639,307	119,518,836	23,120,471
貸倒引当金	△ 536,247,000	△ 520,065,000	△ 16,182,000
流動資産合計	15,847,441,749	16,270,030,492	△ 422,588,743
2　固定資産			
（1）　基本財産			
投資有価証券	240,000,000	240,000,000	0
基本財産合計	240,000,000	240,000,000	0
（2）　特定資産			
収支変動対応資産	196,175,722	207,350,000	△ 11,174,278
融資システム移行費用積立資産	22,825,000	0	22,825,000
ソフトウエア取得積立資産	6,300,250	27,698,000	△ 21,397,750
サーバ機器購入積立資産	53,509,922	0	53,509,922
特定資産合計	278,810,894	235,048,000	43,762,894
（3）　その他固定資産			
建　　物	5,928,825	6,394,728	△ 465,903
什器備品	20,854,692	30,540,049	△ 9,685,357
リース資産	1,504,800	2,284,920	△ 780,120
電話加入権	34,000	34,000	0
ソフトウエア	48,943,798	31,090,767	17,853,031
投資有価証券	760,000,000	760,000,000	0
長期前払費用	1,133,311	1,548,621	△ 415,310
前払年金費用	33,531,404	23,480,950	10,050,454
その他固定資産合計	871,930,830	855,374,035	16,556,795
固定資産合計	1,390,741,724	1,330,422,035	60,319,689
資　産　合　計	17,238,183,473	17,600,452,527	△ 362,269,054
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
未 払 金	15,564,418	60,191,612	△ 44,627,194
未払法人税等	25,000	25,000	0
前 受 金	13,967,918	16,378,373	△ 2,410,455
預 り 金	21,524,320	23,165,476	△ 1,641,156
1年内返済予定長期借入金	16,500,000,000	16,800,000,000	△ 300,000,000
賞与引当金	15,998,954	17,167,801	△ 1,168,847
流動負債合計	16,567,080,610	16,916,928,262	△ 349,847,652
2　固定負債			
預り保証金	2,467,000	2,934,000	△ 467,000
リース債務	1,504,800	2,284,920	△ 780,120
固定負債合計	3,971,800	5,218,920	△ 1,247,120
負　債　合　計	16,571,052,410	16,922,147,182	△ 351,094,772
Ⅲ　正味財産の部			
1　指定正味財産			
寄 付 金	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産合計	20,000,000	20,000,000	0
（うち基本財産への充当額）	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
2　一般正味財産	647,131,063	658,305,345	△ 11,174,282
（うち基本財産への充当額）	(220,000,000)	(220,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(278,810,894)	(235,048,000)	43,762,894
正味財産合計	667,131,063	678,305,345	△ 11,174,282
負債及び正味財産合計	17,238,183,473	17,600,452,527	△ 362,269,054

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
（1） 経常収益			
① 基本財産運用益	3,638,005	3,657,995	△ 19,990
② 事業収益	474,203,670	527,296,720	△ 53,093,050
経営活性化貸付金利息	309,964,886	340,733,752	△ 30,768,866
創業・事業展開支援貸付金利息	12,961,807	13,053,655	△ 91,848
商店街活性化貸付金利息	682,315	773,201	△ 90,886
ものづくり設備導入貸付金利息	563,843	699,106	△ 135,263
経営支援貸付金利息	599,000	2,463,000	△ 1,864,000
償却債権回収金	145,831,937	169,574,006	△ 23,742,069
持続化補助金相談業務受託料	3,223,682	0	3,223,682
セーフティネット申請受付相談業務受託料	376,200	0	376,200
③ 受取補償金	135,695,500	110,713,000	24,982,500
損失補償金	135,695,500	110,713,000	24,982,500
④ 雑 収 益	9,671,125	9,723,196	△ 52,071
経常収益計	623,208,300	651,390,911	△ 28,182,611
（2） 経常費用			
① 事 業 費	590,752,180	508,860,051	81,892,129
人 件 費	220,195,390	223,277,622	△ 3,082,232
物 件 費	74,811,051	74,309,594	501,457
借入金利息	8,172,739	8,323,835	△ 151,096
貸倒引当金繰入額	287,573,000	202,949,000	84,624,000
② 管 理 費	43,630,398	46,679,559	△ 3,049,161
人 件 費	36,376,172	39,760,408	△ 3,384,236
物 件 費	7,254,226	6,919,151	335,075
経常費用計	634,382,578	555,539,610	78,842,968
評価損益等調整前当期経常増減額（A）	△ 11,174,278	95,851,301	△ 107,025,579
評価損益等計（B）	0	0	0
当期経常増減額（C） 〈A+B〉	△ 11,174,278	95,851,301	△ 107,025,579
2 経常外増減の部			
（1） 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
（2） 経常外費用			
① 固定資産除却損	4	0	4
経常外費用計	4	0	4
当期経常外増減額（D）	△ 4	0	△ 4
当期一般正味財産増減額（E） 〈C+D〉	△ 11,174,282	95,851,301	△ 107,025,583
一般正味財産期首残高（F）	658,305,345	562,454,044	95,851,301
一般正味財産期末残高（G） 〈E+F〉	647,131,063	658,305,345	△ 11,174,282
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	303,167	304,833	△ 1,666
② 一般正味財産への振替額	△ 303,167	△ 304,833	1,666
当期指定正味財産増減額（H）	0	0	0
指定正味財産期首残高（I）	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産期末残高（J） 〈H+I〉	20,000,000	20,000,000	0
Ⅲ　正味財産期末残高（K） 〈G+J〉	667,131,063	678,305,345	△ 11,174,282

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計 融資事業	法人会計	合　　計
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1　経常増減の部			
（1）　経常収益			
①　基本財産運用益	**0**	**3,638,005**	**3,638,005**
基本財産運用益	0	3,334,838	3,334,838
基本財産運用益振替額	0	303,167	303,167
②　事業収益	**434,215,047**	**39,988,623**	**474,203,670**
経営活性化貸付金利息	271,799,263	38,165,623	309,964,886
創業・事業展開支援貸付金利息	11,365,807	1,596,000	12,961,807
商店街活性化貸付金利息	598,315	84,000	682,315
ものづくり設備導入貸付金利息	494,843	69,000	563,843
経営支援貸付金利息	525,000	74,000	599,000
償却債権回収金	145,831,937	0	145,831,937
持続化補助金相談業務受託料	3,223,682	0	3,223,682
セーフティネット申請受付相談業務受託料	376,200	0	376,200
③　受取補償金	**135,695,500**	**0**	**135,695,500**
損失補償金	135,695,500	0	135,695,500
④　雑　収　益	**9,667,355**	**3,770**	**9,671,125**
受取利息	11,041	0	11,041
有価証券運用益	9,656,314	0	9,656,314
雑　収　益	0	3,770	3,770
経常収益計	**579,577,902**	**43,630,398**	**623,208,300**
（2）　経常費用			
①　事業費	**590,752,180**		**590,752,180**
（人　件　費）	**220,195,390**		**220,195,390**
役員報酬	5,100,000		5,100,000
給料手当	173,822,489		173,822,489
通勤手当	5,257,714		5,257,714
退職給付費用	5,140,970		5,140,970
福利厚生費	30,874,217		30,874,217
（物　件　費）	**74,811,051**		**74,811,051**
調　査　費	3,023,602		3,023,602
施策普及費	5,871,454		5,871,454
債権管理費	8,339,777		8,339,777
委　託　費	4,990,975		4,990,975
会　議　費	27,500		27,500
旅費交通費	161,390		161,390
通　信　費	1,862,946		1,862,946
水道光熱費	1,194,041		1,194,041
燃　料　費	180,956		180,956
消耗品費	2,718,198		2,718,198
租税公課	600,000		600,000
修　繕　費	154,220		154,220
賃　借　料	16,502,168		16,502,168
印　刷　費	842,930		842,930
図　書　費	538,325		538,325
保　険　料	380,350		380,350
支払手数料	2,498,805		2,498,805
研　修　費	437,612		437,612
雑　　費	204,342		204,342
減価償却費	24,207,911		24,207,911
支払保証料	73,549		73,549
（借入金利息）	**8,172,739**		**8,172,739**
借入金利息	8,172,739		8,172,739
（貸倒引当金繰入額）	**287,573,000**		**287,573,000**
貸倒引当金繰入額	287,573,000		287,573,000

（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計 融資事業	法人会計	合　計
② 管理費		43,630,398	43,630,398
（人 件 費）		36,376,172	36,376,172
役員報酬		13,954,590	13,954,590
給料手当		17,094,304	17,094,304
通勤手当		948,280	948,280
退職給付費用		△ 903,293	△ 903,293
福利厚生費		5,282,291	5,282,291
（物 件 費）		7,254,226	7,254,226
委 託 費		25,025	25,025
会 議 費		134,808	134,808
旅費交通費		17,660	17,660
通 信 費		250,934	250,934
水道光熱費		178,420	178,420
消耗品費		358,289	358,289
租税公課		25,000	25,000
修 繕 費		4,290	4,290
賃 借 料		2,472,162	2,472,162
印 刷 費		65,395	65,395
図 書 費		140,010	140,010
支払手数料		3,191,966	3,191,966
研 修 費		194,647	194,647
雑　　費		79,356	79,356
減価償却費		116,264	116,264
経常費用計	590,752,180	43,630,398	634,382,578
評価損益等調整前当期経常増減額（A）	△ 11,174,278	0	△ 11,174,278
評価損益等計（B）	0	0	0
当期経常増減額（C）〈A+B〉	△ 11,174,278	0	△ 11,174,278
2 経常外増減の部			
（1） 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
（2） 経常外費用			
固定資産除却損	4	0	4
経常外費用計	4	0	4
当期経常外増減額（D）	△ 4	0	△ 4
他会計振替前当期一般正味財産増減額（E）〈C+D〉	△ 11,174,282	0	△ 11,174,282
他会計振替額（F）	0	0	0
当期一般正味財産増減額（G）〈E+F〉	△ 11,174,282	0	△ 11,174,282
一般正味財産期首残高（H）	433,874,568	224,430,777	658,305,345
一般正味財産期末残高（I）〈G+H〉	422,700,286	224,430,777	647,131,063
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	0	303,167	303,167
基本財産運用益	0	303,167	303,167
② 一般正味財産への振替額	0	△ 303,167	△ 303,167
一般正味財産への振替額	0	△ 303,167	△ 303,167
当期指定正味財産増減額（J）	0	0	0
指定正味財産期首残高（K）	0	20,000,000	20,000,000
指定正味財産期末残高（L）〈J+K〉	0	20,000,000	20,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高（M）〈I+L〉	422,700,286	244,430,777	667,131,063

キャッシュ・フロー計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　事業活動によるキャッシュ・フロー			
1　当期一般正味財産増減額（A）	△ 11,174,282	95,851,301	△ 107,025,583
2　キャッシュ・フローへの調整額			
①減価償却費	24,324,175	9,646,957	14,677,218
②固定資産除却損	4	0	4
③貸倒引当金の増減額	16,182,000	△ 18,477,000	34,659,000
④前払年金費用の増減額	△ 10,050,454	△ 3,105,629	△ 6,944,825
⑤賞与引当金の増減額	△ 1,168,847	△ 146,109	△ 1,022,738
⑥貸付金の増減額	2,339,990,500	56,696,500	2,283,294,000
⑦立替金の増減額	△ 1,088,230	△ 1,220,153	131,923
⑧前払費用の増減額	0	△ 415,310	415,310
⑨未収金の増減額	△ 23,120,471	49,158,125	△ 72,278,596
⑩長期前払費用の増減額	415,310	△ 1,547,121	1,962,431
⑪未払金の増減額	△ 44,627,194	31,206,418	△ 75,833,612
⑫未払法人税等の増減額	0	1,300	△ 1,300
⑬前受金の増減額	△ 2,410,455	152,657	△ 2,563,112
⑭預り金の増減額	△ 1,641,156	3,564,459	△ 5,205,615
⑮預り保証金の増減額	△ 467,000	△ 738,000	271,000
⑯指定正味財産からの振替額	△ 303,167	△ 304,833	1,666
小　　計（B）	2,296,035,015	124,472,261	2,171,562,754
3　指定正味財産増加収入			
①基本財産運用収入	303,167	304,833	△ 1,666
指定正味財産増加収入計（C）	303,167	304,833	△ 1,666
事業活動によるキャッシュ・フロー（D）〈A+B+C〉	2,285,163,900	220,628,395	2,064,535,505
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー			
1　投資活動収入			
①３ヶ月超定期預金満期収入	80,000,000	80,000,000	0
②収支変動積立資産取崩収入	11,174,278	0	11,174,278
③融資システム移行費用積立資産取崩収入	0	20,491,161	△ 20,491,161
④ソフトウエア取得積立資産取崩収入	27,698,000	19,818,000	7,880,000
⑤サーバ機器購入積立資産取崩収入	0	27,353,160	△ 27,353,160
投資活動収入計	118,872,278	147,662,321	△ 28,790,043
2　投資活動支出			
①固定資産取得支出	31,245,830	49,749,880	△ 18,504,050
②特定資産取得支出			
融資システム移行費用積立資産支出	22,825,000	0	22,825,000
ソフトウエア取得積立資産支出	6,300,250	27,698,000	△ 21,397,750
サーバ機器購入積立資産支出	53,509,922	0	53,509,922
③３ヶ月超定期預金預入支出	80,000,000	80,000,000	0
投資活動支出計	193,881,002	157,447,880	36,433,122
投資活動によるキャッシュ・フロー（E）	△ 75,008,724	△ 9,785,559	△ 65,223,165
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー			
1　財務活動収入			
①借入金収入	16,500,000,000	16,800,000,000	△ 300,000,000
財務活動収入計	16,500,000,000	16,800,000,000	△ 300,000,000
2　財務活動支出			
①借入金返済支出	16,800,000,000	17,700,000,000	△ 900,000,000
②リース債務返済支出	780,120	843,228	△ 63,108
財務活動支出計	16,800,780,120	17,700,843,228	△ 900,063,108
財務活動によるキャッシュ・フロー（F）	△ 300,780,120	△ 900,843,228	600,063,108
Ⅳ　現金及び現金同等物の増減額（G）〈D+E+F〉	1,909,375,056	△ 690,000,392	2,599,375,448
Ⅴ　現金及び現金同等物の期首残高（H）	2,624,561,693	3,314,562,085	△ 690,000,392
Ⅵ　現金及び現金同等物の期末残高（Ⅰ）〈G+H〉	4,533,936,749	2,624,561,693	1,909,375,056

財務諸表に対する注記

1　継続組織の前提に関する注記

該当なし。

2　重要な会計方針

公益法人会計基準（平成２０年４月１１日　平成２１年１０月１６日改正　内閣府公益認定等委員会）を採用している。

（１）　有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については、償却原価法（定額法）によっている。ただし、額面と取得価額の差額に重要性が乏しい場合、取得価額で記載している。

（２）　固定資産の減価償却の方法

・有形固定資産

定率法（平成２８年４月１日以後に取得した建物付属設備については定額法）によっている。

・無形固定資産

定額法によっている。

・リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。

（３）　引当金の計上基準

・貸倒引当金

貸倒引当金は、個別評価債権と一般債権に分類し、過去の一定期間における各々の貸倒実績率等に基づき算出した額から、名古屋市による貸倒償却に対する損失補償割合を控除して計上している。

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

・賞与引当金

職員の賞与の支給等に備えるため、賞与支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

（４）　リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンスリース取引はリース資産として車両運搬具を計上しており、その他重要性の乏しいリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

（５）　キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

（６）　消費税等の会計処理

税込方式によっている。

3　会計方針の変更

変更は特にありません。

4　基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	240,000,000	0	0	240,000,000
小　　計	240,000,000	0	0	240,000,000
特定資産				
収支変動対応資産	207,350,000	0	11,174,278	196,175,722
融資システム移行費用積立資産	0	22,825,000	0	22,825,000
ソフトウエア取得積立資産	27,698,000	6,300,250	27,698,000	6,300,250
サーバ機器購入積立資産	0	53,509,922	0	53,509,922
小　　計	235,048,000	82,635,172	38,872,278	278,810,894
合　　計	475,048,000	82,635,172	38,872,278	518,810,894

5　基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	240,000,000	(20,000,000)	(220,000,000)	－
小　　計	240,000,000	(20,000,000)	(220,000,000)	－
特定資産				
収支変動対応資産	196,175,722	0	(196,175,722)	－
融資システム移行費用積立資産	22,825,000	0	(22,825,000)	－
ソフトウエア取得積立資産	6,300,250	0	(6,300,250)	－
サーバ機器購入積立資産	53,509,922	0	(53,509,922)	－
小　　計	278,810,894	0	(278,810,894)	－
合　　計	518,810,894	(20,000,000)	(498,810,894)	－

6　固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
有形固定資産			
建　　物	11,185,100	5,256,275	5,928,825
什器備品	46,604,990	25,750,298	20,854,692
リース資産	2,998,656	1,493,856	1,504,800
無形固定資産			
ソフトウエア	76,866,200	27,922,402	48,943,798
合　　計	137,654,946	60,422,831	77,232,115

7　保証債務（債務の保証を主たる目的事業とする場合を除く。）等の偶発債務

三菱ＵＦＪ銀行との間における支払保証委託取引残高は15,350,000円である。

8　満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時　　価	評価損益
基本財産			
地方債（名古屋市第１６回２０年公募公債）	240,000,000	277,315,920	37,315,920
小　　計	240,000,000	277,315,920	37,315,920
投資有価証券			
地方債（名古屋市第１６回２０年公募公債）	60,000,000	69,328,980	9,328,980
地方債（愛知県平成２６年度第１３回公募公債）	300,000,000	341,640,000	41,640,000
地方債（名古屋市第１７回２０年公募公債）	200,000,000	223,458,000	23,458,000
地方債（愛知県平成２７年度第１４回公募公債）	200,000,000	221,480,000	21,480,000
小　　計	760,000,000	855,906,980	95,906,980
合　　計	1,000,000,000	1,133,222,900	133,222,900

9　補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
損失補償金	名古屋市	110,713,000	135,695,500	110,713,000	135,695,500	未収金
合　　計		110,713,000	135,695,500	110,713,000	135,695,500	－

１０ 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

内　　訳	金　　額
経常収益への振替額	
基本財産運用益振替額	303,167
合　　計	303,167

１１ キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

（１） 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は、次のとおりである。

（単位：円）

前　期　末		当　期　末	
現金預金	2,704,561,693	現金預金	4,613,936,749
預入期間が３ヶ月を超える定期預金	△ 80,000,000	預入期間が３ヶ月を超える定期預金	△ 80,000,000
現金及び現金同等物	2,624,561,693	現金及び現金同等物	4,533,936,749

（２） 重要な非資金取引　　該当なし

１２ 退職給付関係

（１） 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として、退職一時金制度及び確定給付企業年金制度を設けている。

（２） 退職給付債務及びその内訳　（単位：円）

① 退職給付債務	△ 259,471,768
② 年金資産	293,003,172
③ 前払年金費用	33,531,404
④ 退職給付引当金（①＋②－③）	0

（３） 退職給付費用に関する事項　（単位：円）

① 勤務費用	4,237,677
② 退職給付費用	4,237,677

（４） 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

附属明細書

１　基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表に対する注記４に記載しているため、内容の記載を省略する。

２　引当金の明細

（単位：円）

科　目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	17,167,801	15,998,954	17,167,801	0	15,998,954
貸倒引当金	520,065,000	287,573,000	271,391,000	0	536,247,000

財　産　目　録

令和3年3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）				
	現金預金			
	〈現金〉	○融資事業 手元保管	運転資金として	414,094
	〈当座預金〉	○融資事業 三菱UFJ銀行今池支店 1口	運転資金として	126,447,320
	〈普通預金〉	○融資事業 三菱UFJ銀行柳橋支店始め10口	運転資金として	4,395,913,941
		○法人会計 三菱UFJ銀行柳橋支店 1口	運転資金として	4,352,739
	〈郵便振替〉	○融資事業 ゆうちょ銀行 1口	運転資金として	6,808,655
	〈定期預金〉	○融資事業 名古屋銀行本店始め8口	運転資金として	80,000,000
			〈現金預金計〉	**4,613,936,749**
	貸 付 金	○融資事業 経営活性化資金融資 2,516件 （うち通常資金　2,317件　9,478,197,000円） （うち不動産等資金 192件　1,609,739,000円） （うち連携ｻﾎﾟｰﾄ資金　3件　5,668,000円） （うち特別支援資金　4件　2,258,000円）	経営活性化資金融資の残高	11,095,862,000
		創業・事業展開支援資金融資 161件	創業・事業展開支援資金融資の残高	366,891,000
		商店街活性化促進資金融資 4件	商店街活性化促進資金融資の残高	55,670,000
		ものづくり設備導入資金融資 35件 （うち通常資金　2件　8,842,000円） （うち特別資金　28件　75,988,000円） （うち機械類貸与　5件　19,969,000円）	ものづくり設備導入資金融資の残高	104,799,000
		経営支援特別資金融資 11件	経営支援特別資金融資の残高	1,067,000
			〈貸付金計〉	**11,624,289,000**
	立 替 金	○融資事業 名古屋地方裁判所	相続財産管理人選任予納金等	**2,408,383**
	前払費用	○融資事業 ㈱富士通マーケティング	サーバ機器等保守料	**415,310**
	未 収 金	○融資事業 名古屋市	損失補償金	135,695,500
		未収利息 226件 名古屋市公債始め4銘柄	経営活性化資金融資等の未収利息 名古屋市公債始め4銘柄の経過利息	2,377,120 3,457,296
		○法人会計 名古屋市公債1銘柄	名古屋市公債1銘柄の経過利息	1,109,391
			〈未収金計〉	**142,639,307**
	貸倒引当金	○融資事業	貸付金の貸倒に備えるための引当金	**△ 536,247,000**
流動資産合計				**15,847,441,749**
（固定資産） 基本財産	投資有価証券	○法人会計 名古屋市第16回20年公募公債	運用益を管理運営の財源として使用している	**240,000,000**
特定資産	収支変動対応資産 ＜普通預金＞	○融資事業 三菱UFJ銀行柳橋支店	将来の収支変動に備えるため積立てている特定費用準備資金	196,175,722
	融資ｼｽﾃﾑ移行費用積立資産 ＜普通預金＞	○融資事業 三菱UFJ銀行柳橋支店	融資システムの移行費用として積み立てている特定費用準備資金	22,825,000
	ｿﾌﾄｳｪｱ取得積立資産 ＜普通預金＞	○融資事業 三菱UFJ銀行柳橋支店	融資システムの改修のため積み立てている資産取得資金	6,300,250
	ｻｰﾊﾞ機器購入積立資産 ＜普通預金＞	○融資事業 三菱UFJ銀行柳橋支店	公益目的保有財産であるサーバ機器一式の買換のための資産取得資金	53,509,922
			〈特定資産計〉	**278,810,894**
その他 固定資産	建　　物	○融資事業、法人会計共用 名古屋市千種区吹上二丁目6番3号 5階 〈建物附属設備〉 会議室（南側）簡易間仕切始め 3点	（共用財産） うち87%を公益目的保有財産として融資事業に使用している うち13%を管理運営に使用している	5,158,074 770,747
		○融資事業 〈建物附属設備〉 東倉庫簡易間仕切始め　4点	公益目的保有財産として融資事業に使用している	4
			〈建物計〉	**5,928,825**
	什器備品	○融資事業、法人会計共用 ４段耐火キャビネット始め15点	（共用財産） うち87%を公益目的保有財産として融資事業に使用している うち13%を管理運営に使用している	1,314,484 196,417

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
		○融資事業 ４段耐火キャビネット始め15点	公益目的保有財産として融資事業に使用している	19,343,781
		○法人会計 応接セット始め10点	管理運営に使用している	10
			〈什器備品計〉	**20,854,692**
	リース資産	○融資事業 車両運搬具2台	融資事業の運営に使用している	**1,504,800**
	電話加入権	○融資事業、法人会計共用 電話回線17本	（共用財産） うち87%を公益目的保有財産として融資事業に使用している うち13%を管理運営に使用している	29,580 4,420
			〈電話加入権計〉	**34,000**
	ソフトウエア	○融資事業 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｿﾌﾄ制作費 8件	公益目的保有財産として融資事業に使用している	**48,943,798**
	投資有価証券	○融資事業 名古屋市第16回20年公募公債始め4銘柄	運用益を融資事業の財源として使用している	**760,000,000**
	長期前払費用	○融資事業 ㈱富士通マーケティング 名古屋市交通局	サーバ機器等保守料 マナカ発行保証金	1,131,811 500
		○法人会計 名古屋市交通局	マナカ発行保証金	1,000
			〈長期前払費用計〉	**1,133,311**
	前払年金費用	○融資事業 日本生命保険相互会社	退職給付会計による確定給付企業年金制度の年金資産超過額	30,020,913
		○法人会計 日本生命保険相互会社	退職給付会計による確定給付企業年金制度の年金資産超過額	3,510,491
			〈前払年金費用計〉	**33,531,404**
固定資産合計				**1,390,741,724**
資産合計				**17,238,183,473**
（流動負債）				
	未 払 金	○融資事業 業者等に対する未払額	3月分事務室共益費・電気料等	14,569,915
		○法人会計 業者等に対する未払額	3月分振込手数料等	994,503
			〈未払金計〉	**15,564,418**
	未払法人税	○法人会計 令和２年度法人市民税の未払額	令和２年度法人市民税納付額	**25,000**
	前 受 金	○融資事業 未経過利息 2,099件	経営活性化資金融資等の未経過利息	**13,967,918**
	預 り 金	○融資事業 名古屋市 融資事業の預り金 職員等からの預り金	損失補償回収金返還 貸付償還金の少額過納金等 3月分住民税等	16,417,075 3,689,142 1,412,823
		○法人会計 非常勤役員からの預り金	3月分源泉所得税	5,280
			〈預り金計〉	**21,524,320**
	１年内返済予定 長期借入金	○融資事業 名古屋市	融資事業のための借入金	**16,500,000,000**
	賞与引当金	○融資事業 職員に対するもの	融資事業に従事する職員に対する賞与支給見込額等のうち当期に帰属する額	14,333,492
		○法人会計 職員に対するもの	法人会計に従事する職員に対する賞与支給見込額等のうち当期に帰属する額	1,665,462
			〈賞与引当金計〉	**15,998,954**
流動負債合計				**16,567,080,610**
（固定負債）				
	預り保証金	○融資事業 預り保証金	機械類貸与の預り保証金	**2,467,000**
	リース債務	○融資事業 名鉄協商㈱	車両運搬具リース料の残金	**1,504,800**
固定負債合計				**3,971,800**
負債合計				**16,571,052,410**
正味財産				**667,131,063**

監 査 報 告 書

令和３年５月１４日

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社
理事長　　水　野　裕　之　様

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社

監　事　　今西　昭一　　㊞

監　事　　服部　　正　　㊞

私たち監事は、令和２年４月１日から令和３年３月３１日までの事業年度の監査を行いましたので、その方法及び結果について以下のとおり報告します。

１　監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人の業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度にかかる事業報告について検討しました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第４２条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度にかかる計算書類及びその附属明細書並びに財産目録及びキャッシュ・フロー計算書について検討しました。

２　監査の結果

（１）事業報告等の監査結果

①　事業報告書の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（２）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録及びキャッシュ・フロー計算書の監査結果

会計監査人後藤貞明公認会計士の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

独立監査人の監査報告書

令和３年５月 10 日

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社
理事長　水 野 裕 之　殿

後藤公認会計士事務所（名古屋市）

公認会計士　後藤　貞明　㊞

＜財務諸表等監査＞

監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定法等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社の令和２年４月１日から令和３年３月 31 日までの事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインⅠ-5（１）の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）、キャッシュ・フロー計算書及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。財務諸表等を作成するに当たり、理事者は継続事業の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。　また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに,意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人はリスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 理事者が継続事業を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

＜財産目録に対する意見＞

財産目録に対する監査意見

私は公益社団法人及び公益財団法人の認定法等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社の令和３年３月 31 日現在の事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下に同じ。）について監査を行った。

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかどうかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。